

事業所名

放課後等デイサービスジョイキッズエール教室

支援プログラム（参考様式）

作成日 令和

7年

2月

14日

法人（事業所）理念		こどもが自分自身を大切に思い、自分らしく楽しい生活を送れるように、心身の健康を育むことを大切にしております。						
支援方針		こどもの尊厳を大切に考え、発達段階に応じた支援を行い、こどもの社会的自立をサポートいたします。						
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	睡眠・食事・排泄など基本的な生活習慣を形成し、健康的な生活リズムやADLの自立を支援します。さらに、社会生活に必要なIADL（金銭や時間管理、公共交通機関の利用）の視点も重視します。学齢期には、二次障害やメンタルヘルスの課題に対応し、自尊感情や自己肯定感を育むことで、子どもがこれからの課題に取り組めるようサポートします。						
	運動・感覚	子どもの感覚特性に配慮し、安心して活動できる環境を整えます。また、感覚・知覚・認知の視点を取り入れ、感覚入力を正確に処理できるよう、感覚遊びや識別訓練などの課題を提供します。粗大運動ではバランス感覚や姿勢保持を養う活動をしています。微細運動では、手指の巧緻性を高める活動を通じて、日常生活や学習に必要なスキルの向上を目指しています。						
	認知・行動	読み・書き・聞く・見る・推測力の土台作り。眼球運動や視知覚、音韻意識・記憶力を総合的に支援します。これにより、集中力や注意機能、課題処理能力を高め、学習や日常生活の困難を軽減し、自信を持って取り組める力を養います。						
	言語 コミュニケーション	視覚的・聴覚的指示理解を支援し、指示を正確に理解し行動に移せる力を育てます。発話意欲や語彙の力を高め、発達を促しながら伝える説明力を支援します。必要に応じてICT機器を活用し、意思伝達や環境理解を支え、状況に応じたコミュニケーションの向上を目指します。						
	人間関係 社会性	ルールのある遊びを通じて、言語指示の理解や自己コントロールを支援し、相手の気持ちを考える機会を提供します。さらに、注意の切り替えや感情の抑制機能を高めることで、場面に応じた適切な行動が取れるよう支援します。また、相手の立場を理解し共感する力を育てることで、協力や対話を円滑に進める社会性の発達を促します。						
家族支援		家庭環境や子どもの特性を把握するため、定期的な面談や送迎の際に保護者と課題を情報共有し、家庭で出来る支援の相談援助やホームプログラム提供を行います。			移行支援		子どものアセスメント結果や個別支援計画書など支援内容に関する情報をモニタリングや担当者会議、面談を通じて共有します。	
地域支援・地域連携		保育所・学校・相談支援事業所等との情報連携、支援方法・環境調整などに関する相談援助等の取り組み			職員の質の向上		月に一度事業所内研修・外部研修会への参加・資格取得サポート・随時スタッフの悩み相談のサポート	
主な行事等		季節のイベントを取り入れた活動（夏祭り・クリスマス会・節分など）						